

鳥取 YEG 通信

TOTTORI
YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP

発行：平成30年2月15日
鳥取商工会議所青年部
総務広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

February 2018

2

平成29年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 福田 通拓
株式会社 インテリア
フクタ

暦の上では、2月16日が旧正月にあたります。この時季の鳥取では、梅の花が開花し、ウグイスが初鳴きする頃でもあります。現在の日本国内のお正月は『新暦』の元日から始まりますが、日本以外アジアの多くの国々では、お正月と言えば『旧正月』のことを指します。最近よく耳にする訪日旅客『インバウンド』(外から内へという意味の英語)が、2015年に45年ぶりにアウトバウンドを逆転したそうです。鳥取県と海外を結ぶ航空路の拡充のおかげで台湾、香港、週5便の韓国線等で結ばれ、外国の方にも鳥取がより身近になりました。たくさんの方の皆さんに夜空が日本一美しい『星取県』にお越しいただき、県内各地で遊・食・観の魅力を満喫していただきたいと思っております。

また、昨年12月21日の11月定例会議最終日には、青年部が同年3月31日に平井知事に提言し、全国初となる『星空保全条例』が賛成多数で可決成立し、4月1日より施行されることになりました。日本一の星空を後世まで引き継ぐ思いから、商工会議所活動の大きな柱である『提言活動』に挑みました。種々の条例制定のニュースは耳にしていますが、この度の条例は『星取県』というネーミングの

取り組みから青年部が着手し、条例制定の提言、有識者会議への参加、パブリックコメント、常任委員会傍聴、県議会派要望、議会傍聴等、さまざまな場面に立ち会いながらの成立となり、改めて青年部の活動の素晴らしさや、地域を愛する気持ちを『県条例』という形に変換することができたと思っております。地域に誇りを持ち、県民自慢の財産として夜空を大切に守り続けることも、今後、私たちの大きな活動となります。現在、新しい取り組みとして日本郵便と共同で『星取県フレーム切手』、併せて『星取県絵葉書』の制作に着手し、3月には発表予定です。

1月17日には、ホテルニューオータニ鳥取で1月例会、臨時総会、併せて恒例の新年祝賀会を開催しました。臨時総会では、フレッシュな顔ぶれの役員が承認され、新体制がスタートします。続いて祝賀会に移り、来賓に深澤鳥取市長、吉村鳥取県商工労働部長、浅井鳥取市経済観光部長、親会より藤縄会頭、英副会頭をお迎えし、私たちの先輩であるOBの皆さまにもお越しいただきました。来賓、OBの皆さまから温かいメッセージや過分なお褒めの言葉をいただき、会員一同が心新たに気を引き締め、今年の活動に取り組んでまいります。今年度、残された私の任期も残り僅かとなりましたが、1年前のことを思い出し、不安や緊張が連続する毎日でありました。お陰様で単会の『仲間』に恵まれ、さまざまな事業や活動に取り組むことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今の気持ちをしつかりと胸に刻み、会員のため、地域のために任期を全うしていきたいと思っております。引き続きご支援賜りますようよろしくお願い致します。

1月例会・臨時総会・新年祝賀会

日時 平成30年1月17日(水) 18:15～21:00
場所 ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間

平成30年を迎え、新年のスタートとなる1月例会・臨時総会・新年祝賀会を1月17日(水)にホテルニューオータニ鳥取で開催しました。

福田会長挨拶のあと、続く臨時総会では青年部会則改正(案)、平成30年度役員選出(案)の2案について提出され、満場一致で承認されました。

午後7時より、深澤鳥取市長、吉村鳥取県商工労働部長、浅井鳥取市経済観光部長、藤縄会頭、英副会頭、また大勢のOBの方々のご参加のもと、新年祝賀会を開催しました。来賓である深澤市長、吉村部長、藤縄会頭より来賓の祝辞をいただき、『星取県』に関する取り組みなどYEG活動へのさらなる期待を込めた鼓舞激励の言葉を受け、新しい年の始まりを改めて実感し、身が引き締まる思いとなりました。

英副会頭の乾杯によりスタートした祝賀会の中では、杉内次年度会長より「初心を忘れず、活気のある鳥取をつくっていきます」と次年度への意気込みが伝わる挨拶が行われ、昨年2月以降に入会した新入交代会員32名の紹介、また、OBの皆さまより熱い励ましのお言葉もいただき、浅井部長による一丁締めで、大盛会のうちに新年祝賀会は終了いたしました。



福田会長挨拶



OBによる杉内次年度会長への激励

OB合同交流会

12月14日(木)にOB合同交流会を開催し、会場の「ぐらっちえ本店」に大勢の方にお集まりいただきました。

冒頭の福田会長の挨拶では、当日開催された県議会を傍聴した感想と、その中で「鳥取を盛り立てるために懸命に取り組み青年たちに手を差し伸べるべき」との平井知事の言葉を受け、ますます頑張る気持ちになったとの話が印象的でした。

続いて、英副会頭より「今の青年部は勢いがある。さまざまな取り組みや、会員交流等の活動に今後も期待しております」というお言葉に併わせ、乾杯の音頭を取っていただきました。また、OB参加者をご紹介して、それぞれのOBの方より自己紹介や会社概要をお話しいただきました。

会の中では、光浪OBに審査指導していただきながら、お題に沿って川柳の詠み会を行い、名(迷?)作の誕生に会場は盛り上がりました。

最後に、谷尾当委員会担当副会長による中締め挨拶で「会員数が150名を越えた今こそ、数ばかり増えたと云われなくように活動していかなくてはならない。数同じくして150名程おられますOBの方々が積み重ねてこられた歴史の上に、今のYEGがあることを忘れずに活動していきたい」と一丁締めで閉会しました。

今後もこのような交流会を開催して、さらなる現役メンバーとOBとの交流を図っていききたいと思います。

ビジネス

ネットワーク委員会

松村 将史



鳥取県商工会議所青年部連合会 「合同レクリエーション」を 開催致しました

1月13日(土)に倉吉YEG、米子YEG、鳥取YEGの有志が集まり、ソフトバレー大会を開催しました。当日は雪で天候には恵まれませんでした。鳥取県中部の体育館に3単会合わせて60名ほどが集まり、6チームに分かれてリーグ戦を行った後、4チームによる決勝トーナメントを行いました。そのため、最低でも5試合、多い方は7試合を戦いました。日頃の運動不足を実感しながらも、単会対抗ではなく、すべての単会の混合チームにしたこともあって、白熱しつつも和気あいあいと大会は大盛り上がりでした。

大会後は場所を移し、お風呂で汗を流した後に懇親会を行い、3単会の親睦をさらに深めることができたと思いますので、今後も交流を続けていきたいと思えます。

総務広報委員会 中崎 雄一



選手宣誓



試合の様子

特別オープン委員会

1月10日(水)午後7時から、商工会議所5階の大会議室でU-Jターンの会員を対象とした「まち興し委員会」提案委員会 特別オープン委員会を開催しました。

「雇用を産み出す企業まちづくりについて考える」をテーマに行政職員様を交えた意見交換会です。

私はU-Jターンのグループでした。最初に簡単な自己紹介と県外から鳥取に来た経緯を各メンバーで共有し、その後、県外と比較した鳥取の長所と短所、鳥取に移住者を増やすための具体的な解決策を話し合うなど、活発な意見交換会になりました。

今回の意見交換会から得られたご意見結論を基に、提案提案委員会は雇用促進、生産性向上、人材育成、若者定住等についての政策提言活動の参考にし、まち興し委員会はまち興しのヒントや鳥取に子育て世帯に戻っていただくためのアイデアを得るなど、今後の両委員会活動へ生かしていきたいと考えています。

まち興し委員会 太田 哲平



オープン委員会の様子